

2022年3月期 決算説明資料

レシップホールディングス株式会社

2022年6月2日

Agenda

01

2022年3月期 通期業績の概要

P3~P15

02

2023年3月期 通期業績予想・配当の状況

P17

03

中期経営計画「CN2023」の取組状況

P19~P25

【ご参考資料】:P27~P33

- 会社概要・事業内容
- 主な経営指標の推移
- 年間業績の推移
- 四半期別の業績推移

2022年3月期:通期業績の要約

前年比

売上高



減収

損益面



黒字化

(※収益認識会計基準の影響を除くと増収)



輸送機器

Transport Equipment

業界全体の設備投資の抑制傾向が続いたものの、新500円硬貨への対応やバス用ICカードシステムの新規導入案件、鉄道市場における列車用LED灯具等の売上伸長により増収。

増収



産業機器

(エネルギーマネジメントシステム)

Industrial Equipment
(Energy Management System)

自動車向けプリント基板実装受託の売上において「収益認識会計基準」適用に係る影響により減収。

減収

外部環境の影響

コロナウイルスの影響により、輸送機器事業においては、設備投資の抑制傾向が続く。加えて、世界的な部材不足による調達難など不安定な状況。

輸送機器事業

- バス・鉄道市場においては、設備投資は抑制傾向ではあるものの、キャッシュレス決済の推進や運転士の負担軽減など事業者・利用者双方の利便性向上のための投資、設備更新需要は存在。
- 自動車市場においては、世界的な部材不足が発生し、自動車メーカーにおいて減産が行われたことにより、トラックの生産台数が低調に推移。

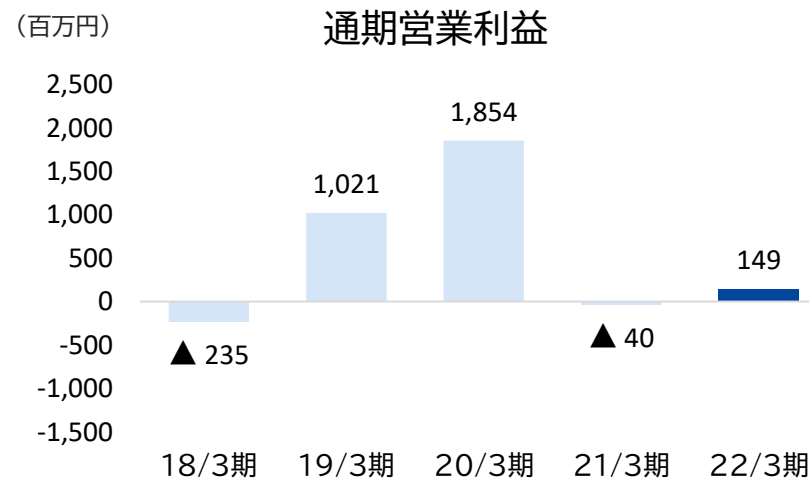
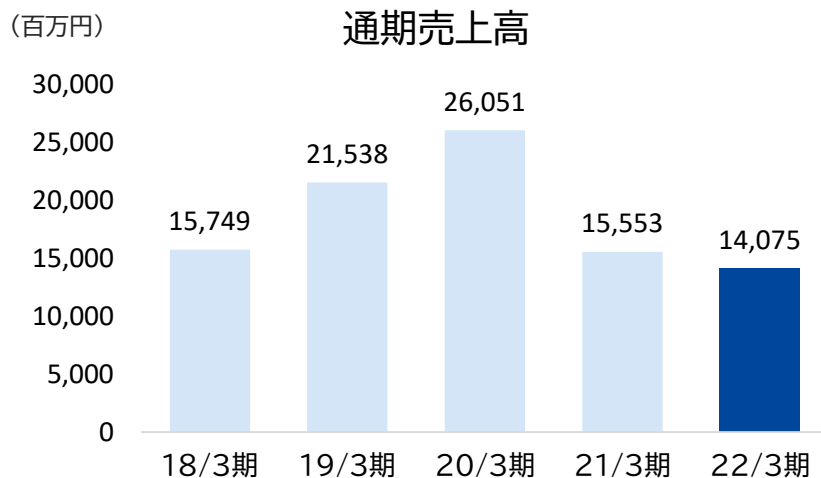
産業機器事業

(エネルギーマネジメントシステム)

- 電源ソリューション市場、EMS市場においては、部材不足の影響を受けた顧客で減産が行われたことにより、一時的に受注が落ち込んだ。足元では上海ロックダウンの影響により、不透明な状況が続く。
- エコ照明・高電圧ソリューション市場における影響は限定的。

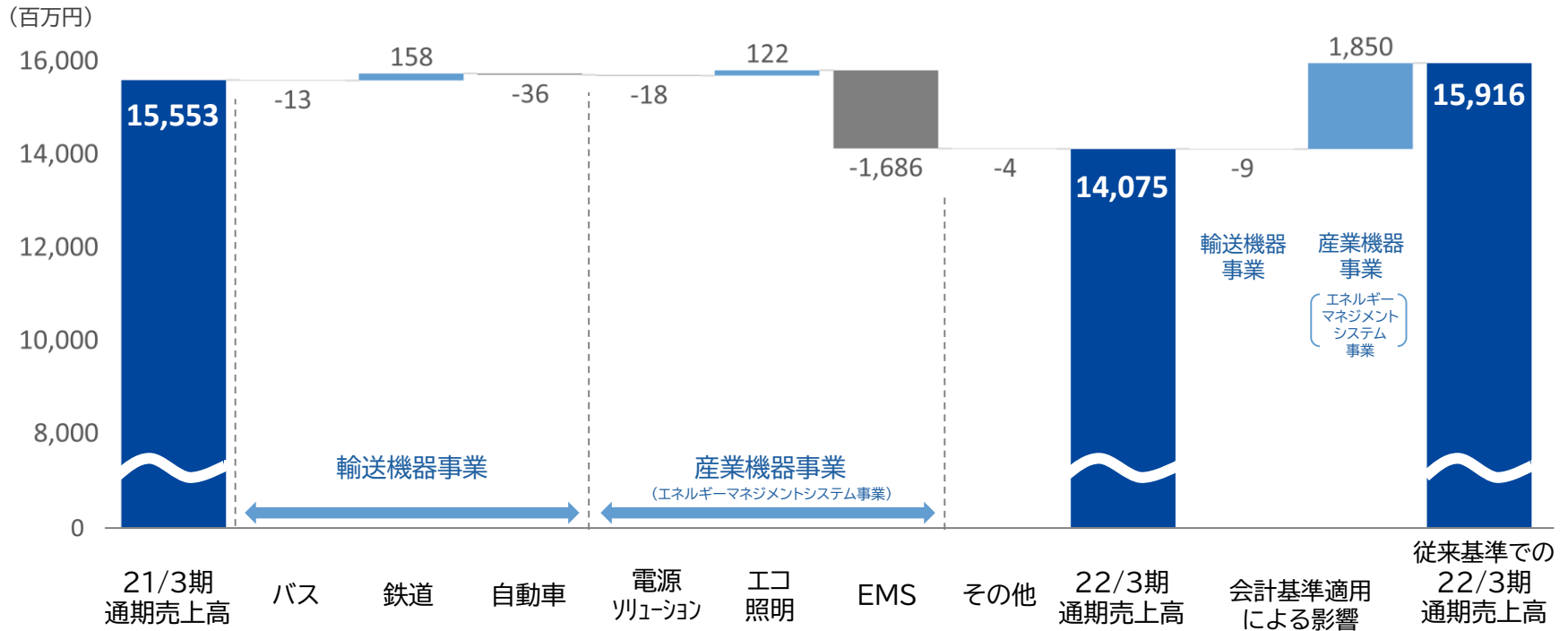
2022年3月期:通期業績の要約

連結業績	2021年3月期		2022年3月期			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	15,553	100.0%	14,075	100.0%	▲1,477	▲9.5%
売上総利益	3,303	21.2%	3,954	28.1%	+650	+19.7%
営業利益	▲40	▲0.3%	149	1.1%	+189	-
経常利益	35	0.2%	325	2.3%	+289	9.0倍
当期純利益	▲124	▲0.8%	53	0.4%	+177	-



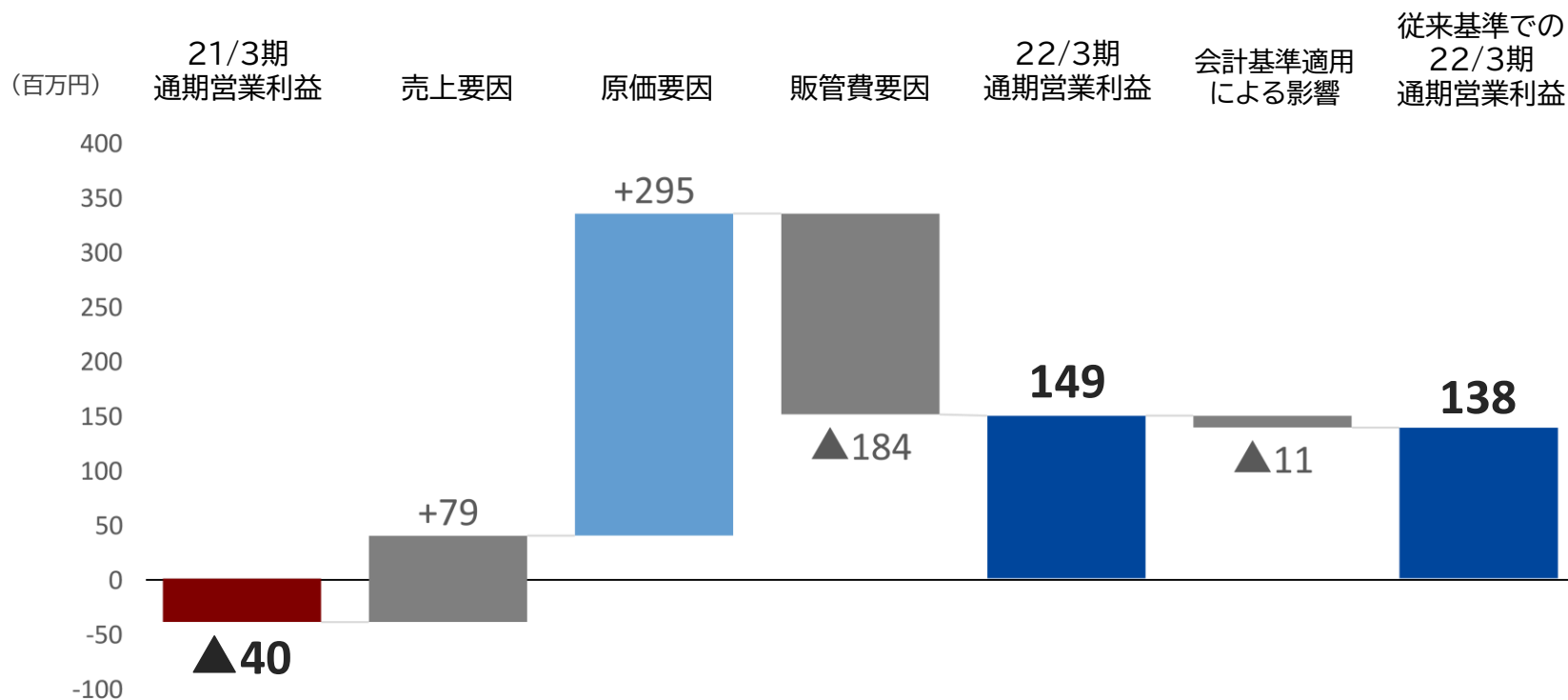
* 2022年3月期より、企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」及び企業会計基準適用指針第30号「収益認識に関する会計基準の適用指針」を適用しております。

2022年3月期:通期 売上高の増減要因



- 会計基準適用による影響: 収益認識会計基準の適用により、従来基準と比較し▲1,841百万円減少。
⇒従来基準での比較では前年実績を上回る。
- 売上要因 : 鉄道市場とエコ照明市場において売上が伸長

2022年3月期:通期 営業利益の増減要因



- 売上要因 : 鉄道市場とエコ照明市場において売上が伸長。
- 原価要因 : 原価低減、商品構成の変化等により改善。
- 販管費要因 : 減価償却費、事務委託費、人件費の増加。
- 会計基準適用による影響: 従来基準と比較し11百万円利益が増加。

※22/3期より研究開発費用相当分を売上原価から販管費へ一部組替えた影響を除いて試算しております。

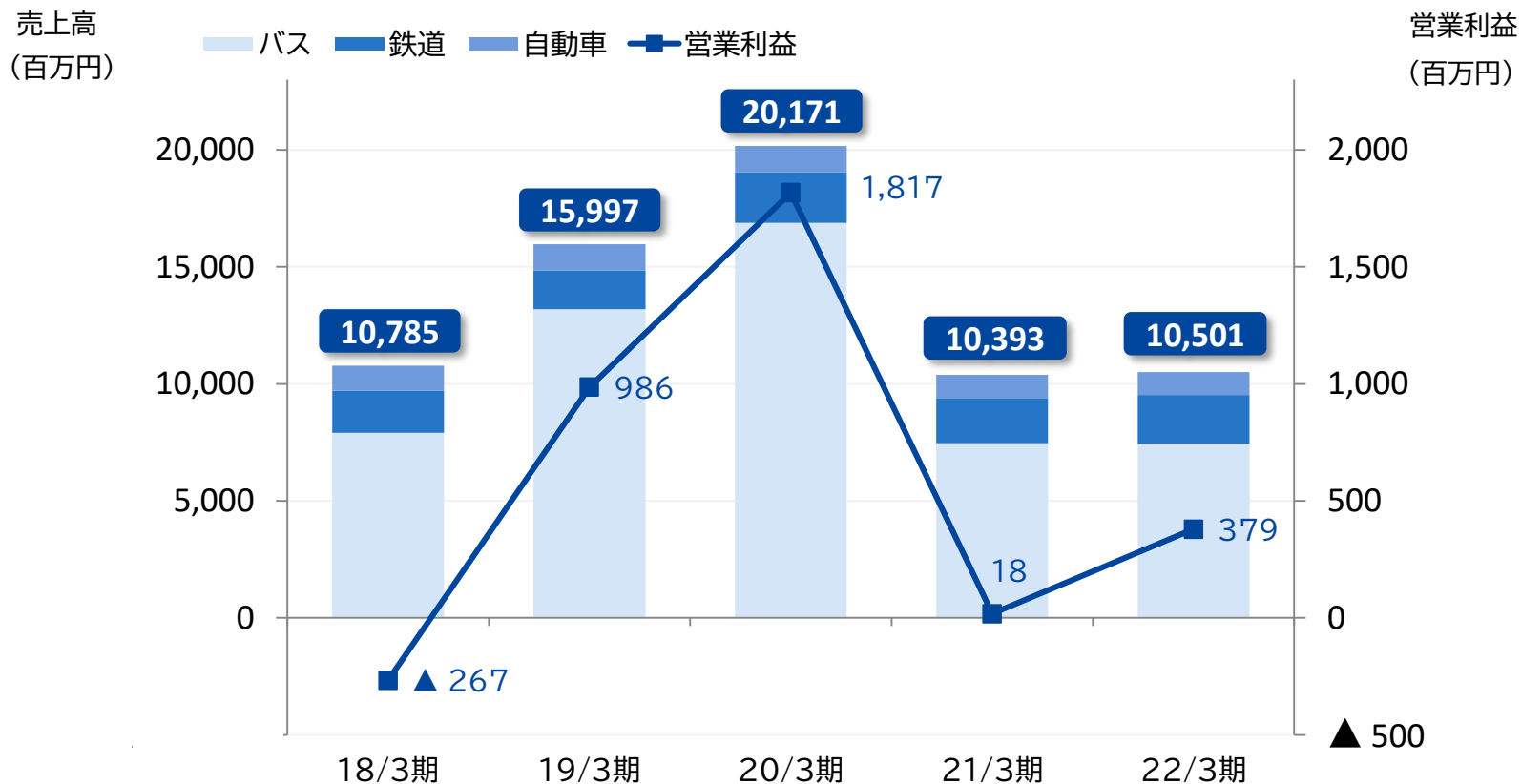
2022年3月期:通期セグメント別業績

売上高	2021年3月期通期		2022年3月期通期			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
輸送機器事業	10,393	66.8%	10,501	74.6%	+108	▲1.0%
産業機器事業 (「エレクトロニクス・マネジメントシステム事業」)	5,118	32.9%	3,536	25.1%	▲1,582	▲30.9%
その他事業	41	0.3%	37	0.3%	▲4.1	▲9.8%
連結売上高	15,553	100.0%	14,075	100.0%	▲1,477	▲9.5%

営業利益	2021年3月期通期		2022年3月期通期			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
輸送機器事業	18	—	379	—	+361	21.1倍
産業機器事業 (「エレクトロニクス・マネジメントシステム事業」)	▲12	—	▲173	—	▲160	—
その他事業	6	—	6	—	▲0.1	▲1.7%
計	12	—	212	—	+200	17.2倍
消去・全社	▲52	—	▲63	—	▲10	—
連結営業利益	▲40	—	149	—	+189	—

輸送機器事業：通期業績

通期売上高・営業利益の推移



■ 売上高 :前期比 ▲ 1億08百万円 + 1.0%

■ 営業利益 :前期比 + 3億61百万円 20.6倍

輸送機器事業：通期業績



バス市場

7,458 百万円 (▲0.2%)

前期比: ▲13百万円

- ◆ 新500円硬貨発行に係る運賃收受機器の改造需要が増加。
- ◆ 北関東から東北、中国地区におけるバス用ICカードシステムの新規導入需要を背景に、運賃箱やICカードリーダーライタの売上が増加
- ◆ 首都圏向け車載用液晶表示器の大型案件の反動減により、OBC-VISIONの売上が大きく減少。
- ◆ 新型コロナウイルス感染拡大の影響による業界全体の設備投資抑制が続いた。

鉄道市場

2,064 百万円 (+8.3%)

前期比: +1億58百万円

- ◆ 列車用LED灯具の売上が増加。
- ◆ 新500円硬貨発行に係る運賃收受機器の改造による売上が増加。

自動車市場

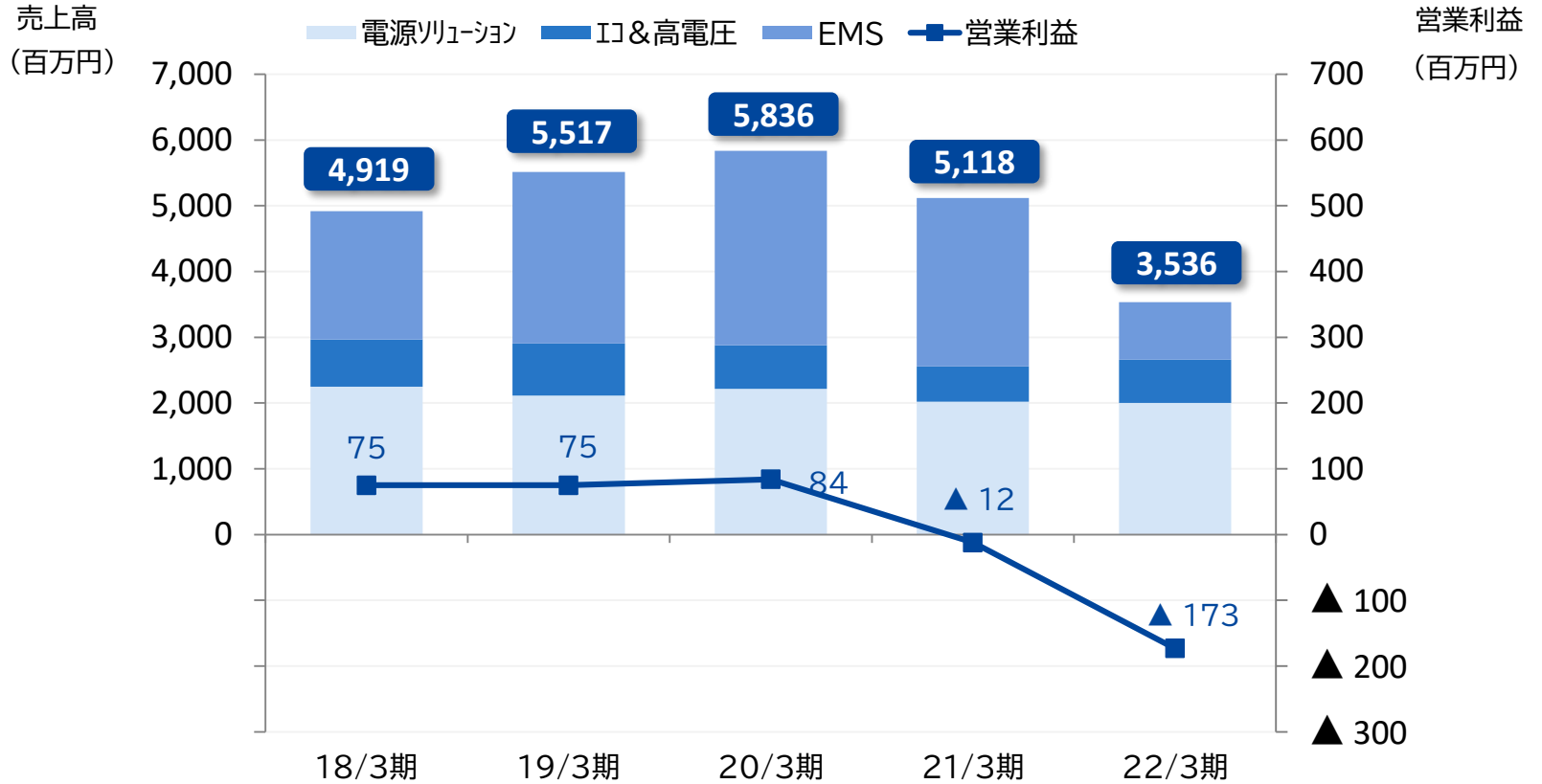
979 百万円 (▲3.6%)

前期比: ▲36百万円

- ◆ トラックの生産台数が低調に推移したため、トラック用灯具の売上が減少。

産業機器事業(エネルギー管理システム事業) : 通期業績

通期売上高・営業利益の推移



■ 売上高 : 前期比 ▲ 15億82百万円 ▲30.9%
 ■ 営業利益: 前期比 ▲ 1億60百万円 -%

産業機器事業(エネルギーマネジメントシステム事業):通期業績



電源ソリューション市場 **2,001**百万円 (▲0.9%)

前期比: ▲18百万円

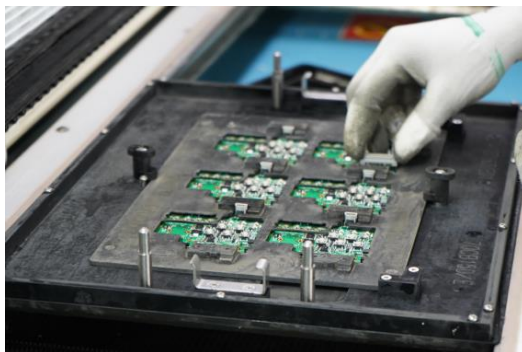
- ◆ バッテリー式フォークリフト用充電器などの売上が増加。
- ◆ 無停電電源装置や自家発電機用自動運転装置等の売上は減少。



工照明・高電圧ソリューション市場 **659**百万円 (+22.9%)

前期比: +1億22百万円

- ◆ ガソリンスタンド等の店舗看板の更新需要に合わせ、LED電源の販売が増加。



EMS市場 **875**百万円(▲65.8%)

前期比: ▲16億86百万円

- ◆ 収益認識会計基準の適用により、従来基準と比較し▲18億50百万円減少。

連結損益計算書

【連結P/L】	2021年3月期 通期		2022年3月期 通期			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
売上高	15,553	100.0	14,075	100.0	▲1,477	
売上原価	12,250	78.8	10,121	71.9	▲2,128	
売上総利益	3,303	21.2	3,954	28.1	+650	
販売管理費	3,343	21.5	3,804	27.0	+460	開発工数振替分: +277百万円 ※ 減価償却費: +62百万円 事務委託費: +41百万円 株式報酬費用: +23百万円 試験研究費: ▲40百万円 等
営業利益	▲40	▲0.3	149	1.1	+189	
営業外収益	110	0.7	210	1.5	+99	為替差益: +110百万円 助成金収入: ▲8百万円 等
営業外費用	34	0.2	34	0.2	+0	
経常利益	35	0.2	325	2.3	+289	
特別利益	—	—	0	0.0	0	
特別損失	6	0.0	16	0.1	+10	減損損失: +6百万円 投資有価証券評価損: +3百万円 等
税金等調整前純利益	29	0.2	▲308	▲2.2	▲278	
法人税等合計	154	1.0	255	1.8	+100	
当期純利益	▲124	▲0.8	53	0.4	+177	

※22/3期より、これまで売上原価に含まれていた研究開発費用相当分を販管費へ計上することとした為、277百万円増加しております。

連結貸借対照表

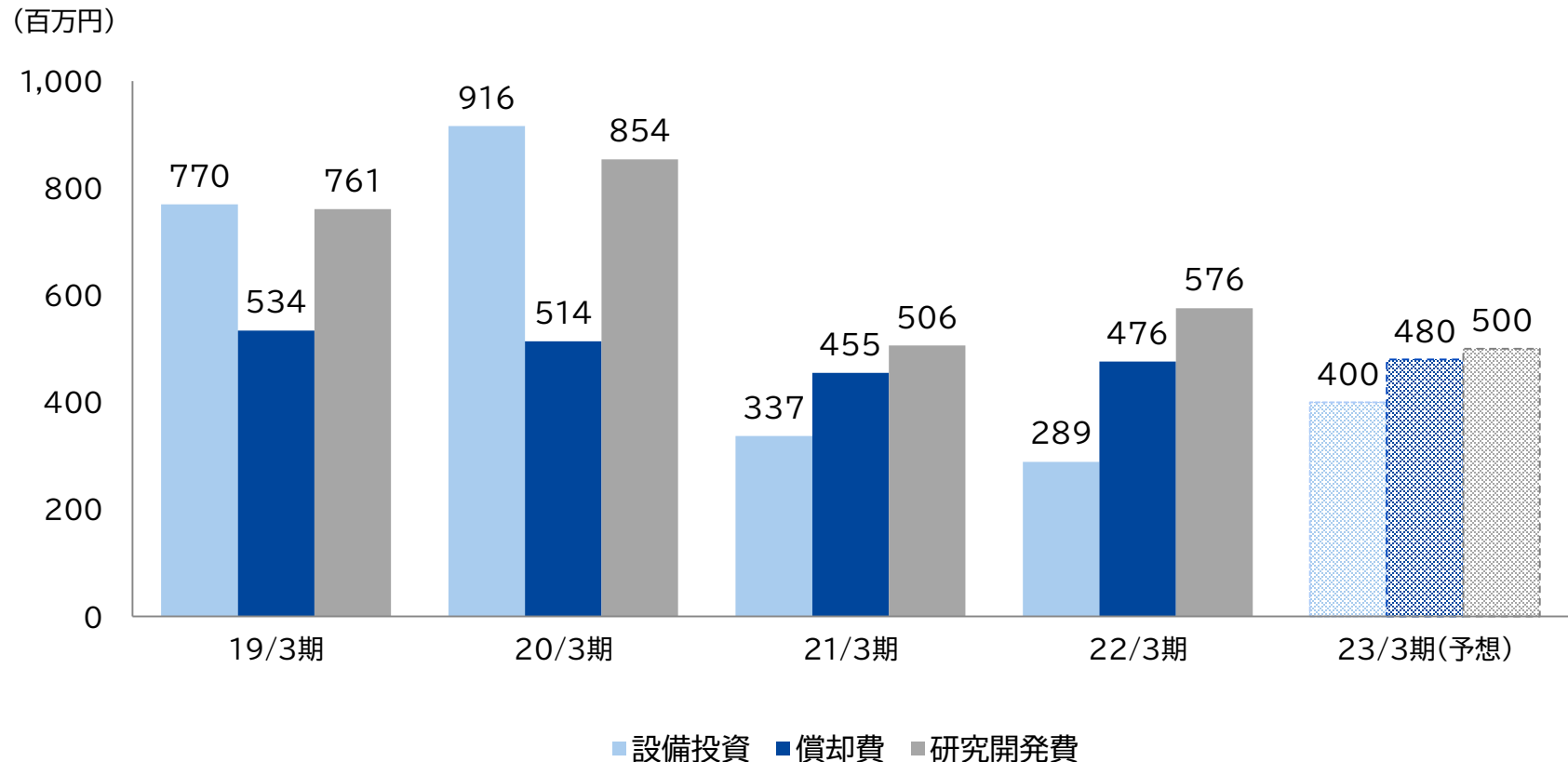
【連結B/S】	2021年3月期 通期		2022年3月期 通期			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
流動資産	11,746	77.6	11,282	78.1	▲464	売掛金 : ▲1,475百万円 未収還付法人税 : ▲ 317百万円 現金及び預金 : + 706百万円 原材料及び貯蔵品 : + 602百万円
固定資産	3,382	22.4	3,167	21.9	▲214	有形固定資産 : ▲ 100百万円 無形固定資産 : ▲ 100百万円 投資その他の資産 : ▲ 14百万円
資産合計	15,129	100.0	14,449	100.0	▲679	
流動負債	9,048	59.8	8,419	58.3	▲629	短期借入金 : ▲1,356百万円 未払法人税等 : + 271百万円 電子記録債務 : + 173百万円 前受金 : + 108百万円 有償支給に係る負債 : + 43百万円 1年以内返済予定の 長期借入金 : + 20百万円
固定負債	1,167	7.7	1,255	8.7	+87	長期借入金 : + 126百万円
負債合計	10,216	67.5	9,674	67.0	▲542	
純資産合計	4,912	32.5	4,775	33.0	▲137	為替調整勘定 : ▲120百万円
負債・純資産合計	15,129	100.0	14,449	100.0	▲679	

研究開発費、設備投資、償却費の推移

22/3期 通期実績

■設備投資 リース資産、社内ITインフラ、社内設備更新、機械及び装置 等

■研究開発費 キャッシュレス決済対応、「LIVU」機能拡充、新型充電器の開発等 等



Agenda

01

2022年3月期 通期業績の概要

P3~P15

02

2023年3月期 通期業績予想・配当の状況

P17

03

中期経営計画「CN2023」の取組状況

P19~P25

【ご参考資料】:P27~P33

- 会社概要・事業内容
- 主な経営指標の推移
- 年間業績の推移
- 四半期別の業績推移

2023年3月期:通期業績予想・配当の状況

● 業績予想は増収増益の見通し



輸送機器事業

新型コロナウイルスによる影響を受けつつも、公共交通への設備投資需要は確実に存在し、徐々に復調すると想定。

- 首都圏以外の地域で、バス用ICカードシステムの納入を予定。
- バス・鉄道業界における切迫した課題である乗務員不足などの課題解決に貢献する路線バス運行支援ユニット「LIVU(LECIP Intelligent Vehicle Unit)」やカラーLED式行先表示器などの拡販を推進。
- 海外市場では、米国において、ニューヨークの地下鉄車両用灯具の本格納入を予定しているほか、カリフォルニア州のバス事業者様向け運賃箱の納入も予定。



産業機器事業

(エネルギーマネジメントシステム)

- 物流市場の好調を背景に、バッテリー式フォークリフト用充電器やインバータ充電器(AGV向け充電器)の売上増加を見込む。
- 無停電電源装置の拡販を推進。

● 配当は安定配当の観点から配当予想5円00銭を計画

Agenda

01

2022年3月期 通期業績の概要

P3~P15

02

2023年3月期 通期業績予想・配当の状況

P17

03

中期経営計画「CN2023」の取組状況

P19~P25

【ご参考資料】:P27~P33

- 会社概要・事業内容
- 主な経営指標の推移
- 年間業績の推移
- 四半期別の業績推移

中期経営計画「CN2023」について

CN2023

Challenge to the NEXT STAGE 2023

次のステージにチャレンジ

重点課題

- モノ+コトへの新たな事業展開
- MaaS、スマートシティに向けた新しい価値の提供
- 海外・国内ビジネスの新たな融合と広がり
- 事業構造の転換に向けた業務プロセスの抜本的変革
- 育成分野への経営資源のスムーズな移行

目 標

- 売上高 200億円
- 営業利益率 5%
- ROE 8%以上



モノ+コトへの新たな事業展開①



モバイルチケット

QUICK RIDE

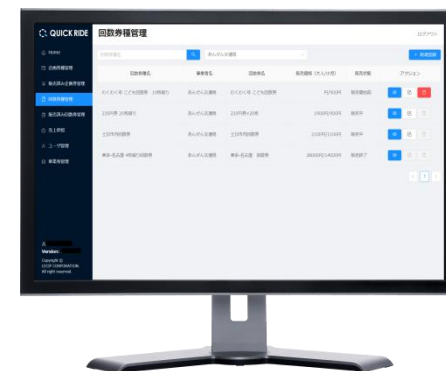
いつでもどこでも購入できる

モバイルチケットで、販売機会を創出

簡単にキャッシュレス決済を導入

窓口業務や経理業務の負担軽減

- ✓ 複雑な運賃計算が必要である回数券・定期券にも対応できることが強み
- ✓ 2022年5月現在では全国で18社に導入
⇒回数券・定期券の販売枚数が増加
- ✓ 今後は車載器と組み合わせ乗降データなどを取得できる機能の開発を進める
⇒データの利活用の提案へとつなげる。

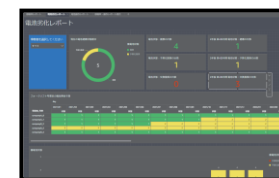


モノ+コトへの新たな事業展開②



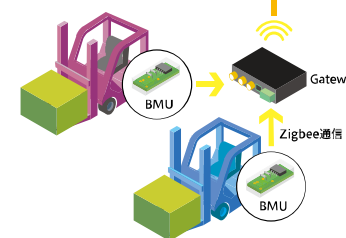
バッテリー遠隔 監視システムの開発

車両稼働状態などの
見える化



IOTプラットフォーム

LTE通信



フォークリフト

AGV

電動作業車

- ✓ 車両の稼働状況や充電状況などを可視化 ⇒ 車両の管理・メンテナンス工数を削減
- ✓ データを組み合わせたサービスにより付加価値の向上を図る。

MaaS、スマートシティに向けた新しい価値の提供



長良川鉄道株式会社様にて
キャッシュレス運賃収受器
LV-700を本格納入



22/3期は北関東から東北、中
国地区におけるバス用ICカード
システムの新規導入が進んだ

- ✓ バスにおけるICカードシステムに強み、現在では約6割のシェアを獲得
- ✓ 世の中の変化に対応した新しいシステムの開発を継続していく

海外・国内ビジネスの新たな融合と広がり

23/3期は鉄道車両用灯具の大口案件の本格納入が開始。



▶ 鉄道車両用灯具の受注活動を推進

- 日系車両メーカー及び現地の交通事業者との連携を強化。
- 19/3期に、NYの地下鉄車両向け照明灯具の大型案件を受注。(ベース車両535両の契約を受注済)
一時コロナウイルスの影響等により遅延していたが、23/3期より本格納入が始まる。
- オプションが行使されれば27/3期までに最大1,612両への納入を予定。



▶ バス用AFC(自動運賃收受)システム

- 2019年9月:バス事業者様の幅広いニーズに対応可能な、新型運賃箱を市場投入。
- カリフォルニア州のバス事業者様への運賃箱納入を23/3期中に予定。

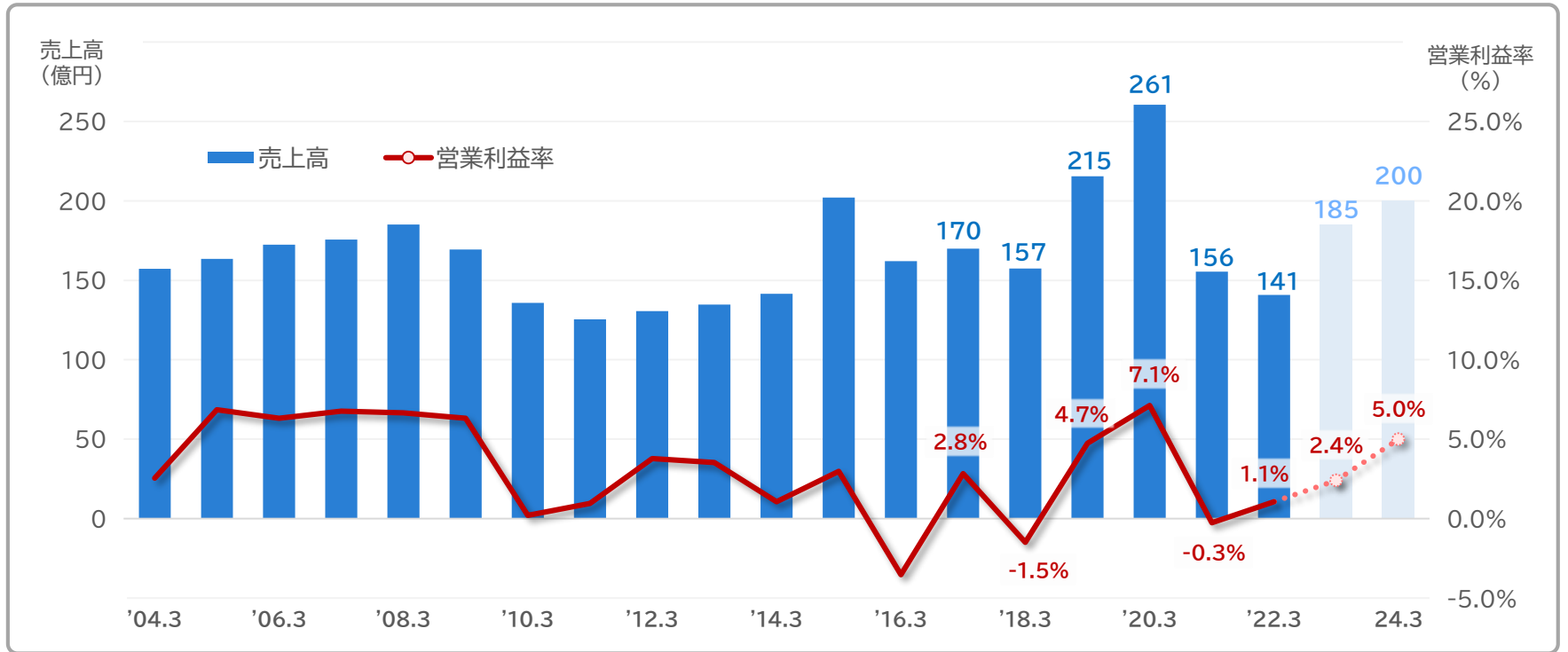
日本国内は長期的に人口減少のトレンドの影響を受けることを見据え、海外市場でのビジネスを拡大していく。

サステナビリティ

長期ビジョン・中期経営計画に基づいた事業展開を行うことで、当社の強みを活かした新たな価値創造による社会課題の解決を目指す。

サステナビリティ課題・目標(マテリアリティ)	関連するSDGs
使いやすく持続可能な輸送システムの提供	 
脱炭素社会への貢献	  
持続可能なものづくり	  
働きがいのある職場づくり	  
コーポレートガバナンス	

プライム市場基準の充足へ向けて



GP2006

・首都圏IC導入

PG2009

・首都圏IC導入
ピークアウト
・地方へのIC導入

CE2012

・国内シェアアップ
・新製品探索

+1=2015

・TMSの展開
・海外展開加速

CA2020

・首都圏IC更新需要
・次期成長ドライバーの開発
LIVU
LV-700
QUICK RIDE
北米向け新型運賃箱

CN2023

長期ビジョン「VISION2030」
の実現に向けて

【目標値】

売上高 200億円以上
営業利益率 5%以上

- ・ キャッシュレス化への対応
- ・ 運行データソリューション
- ・ ETK「マネジ」メントシステムの強化
- ・ 地方のIC案件への対応
- ・ 海外ビジネスの強化

※ 2022年3月期より、企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」及び企業会計基準適用指針第30号「収益認識に関する会計基準の適用指針」を適用しております。

Agenda

01

2022年3月期 通期業績の概要

P3~P15

02

2023年3月期 通期業績予想・配当の状況

P17

03

中期経営計画「CN2023」の取組状況

P19~P25

【ご参考資料】:P27~P33

- 会社概要・事業内容
- 主な経営指標の推移
- 年間業績の推移
- 四半期別の業績推移

LECIP GROUP

レシップホールディングス株式会社

レシップ株式会社

レシップ電子株式会社

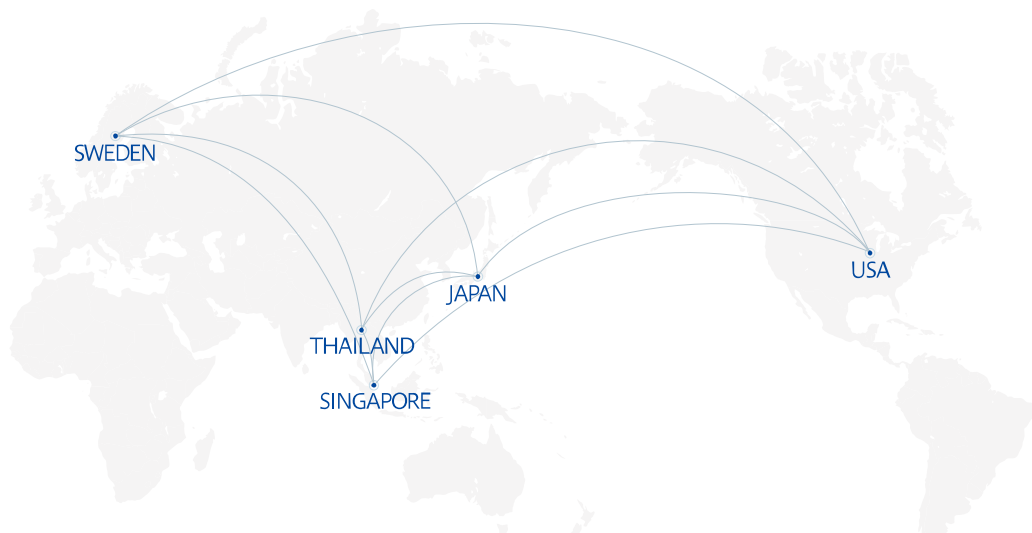
レシップエンジニアリング株式会社

LECIP INC.

LECIP (SINGAPORE) PTE LTD

LECIP THAI CO., LTD.

LECIP ARCONTIA AB



会社名 レシップホールディングス株式会社
(LECIP HOLDINGS CORPORATION)

設立 1953年3月

代表者 代表取締役社長 杉本 眞

本社所在地 岐阜県本巣市上保1260番地の2

資本金 11億9,095万円

発行済株式総数 14,178,200株

上場証券取引所 東証プライム、名証プレミア (証券コード:7213)

連結対象会社 8社 (国内4社、海外4社)

連結従業員数 600名 (国内:560名、海外40名)

2022年3月末時点



JAPAN



USA



SINGAPORE



THAILAND



SWEDEN

2022年3月期 通期の事業セグメント別売上高

22/3期 連結売上高:14,075百万円

産業機器事業(エネルギーマネジメントシステム事業)

25.1%

3,536百万円

バッテリー式フォークリフト用充電器
屋外用無停電電源装置
LED電源
直管型LEDランプ
ネオン変圧器
プリント基板実装事業

輸送機器事業

74.6%

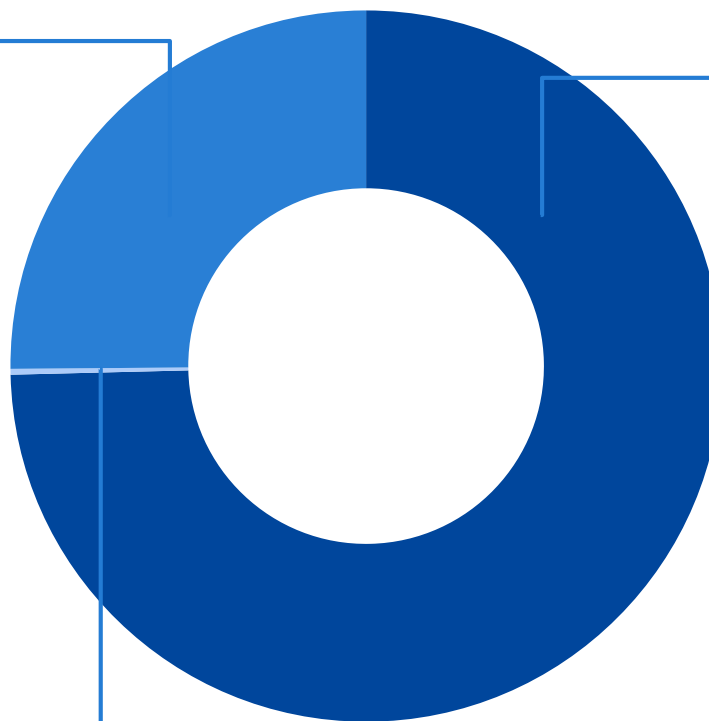
10,501百万円

バス・鉄道用運賃箱
ICカードシステム
OBC(液晶表示器)
LED式行先表示機器
車載用照明機器

その他

0.3%

37百万円



主な経営指標の推移

(単位:百万円)

主な経営成績 指標の推移	2004/3期	2005/3期	2006/3期	2007/3期	2008/3期	2009/3期	2010/3期	2011/3期	2012/3期	2013/3期
売上高	15,717	16,346	17,233	17,572	18,511	16,933	13,585	12,551	13,059	13,480
営業利益	400	1,122	1,089	1,189	1,232	1,070	29	121	493	477
営業利益率 (%)	(2.5)	(6.9)	(6.3)	(6.8)	(6.7)	(6.3)	(0.2)	(1.0)	(3.8)	(3.5)
経常利益	390	1,124	1,086	1,191	1,208	1,104	64	154	514	526
経常利益率 (%)	(2.5)	(6.9)	(6.3)	(6.8)	(6.5)	(6.5)	(0.5)	(1.2)	(3.9)	(3.9)
当期純利益	▲100	654	622	668	686	521	41	46	132	292
当期純利益率 (%)	(▲0.6)	(4.0)	(3.6)	(3.8)	(3.7)	(3.1)	(0.3)	(0.4)	(1.0)	(2.2)
総資産	10,267	10,529	10,512	11,533	11,470	10,417	10,521	9,698	10,347	9,791
純資産	1,888	2,519	3,895	4,408	4,995	5,339	5,289	5,275	5,308	4,755
自己資本比率 (%)	(18.4)	(23.9)	(37.1)	(38.2)	(43.5)	(51.2)	(50.3)	(54.4)	(51.3)	(48.6)
EPS(円)	▲9.02	53.85	48.14	52.34	53.69	40.80	3.27	3.67	10.40	23.43
ROE (%)	—	29.7	19.4	16.1	14.6	10.1	0.8	0.9	2.5	5.8
BPS(円)	169.18	220.83	299.82	344.91	390.83	417.74	413.82	412.80	415.38	438.69

※2014年4月を効力発生日として、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。

株式分割前のEPS、BPSにつきましても、株式分割後の株数の基準でもって、算定し直し、現在と同じ基準で表示を行っております。

主な経営指標の推移

(単位:百万円)

主な経営成績 指標の推移	2014/3期	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期	2019/3期	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期
売上高	14,157	20,215	16,203	16,985	15,749	21,538	26,051	15,553	14,075	18,500
営業利益	151	603	▲571	483	▲235	1,021	1,854	▲40	149	450
営業利益率 (%)	(1.1)	(3.0)	(▲3.5)	(2.8)	(▲1.5)	(4.7)	(7.1)	(▲0.3)	(1.1)	(2.4)
経常利益	164	779	▲649	354	▲248	1,030	1,830	35	325	430
経常利益率 (%)	(1.2)	(3.9)	(▲4.0)	(2.1)	(▲1.6)	(4.8)	(7.0)	(0.2)	(2.3)	(2.3)
当期純利益	▲98	227	▲1,378	50	▲454	438	891	▲124	53	80
当期純利益率 (%)	(▲0.7)	(1.1)	(▲8.5)	(0.3)	(▲2.9)	(2.0)	(3.4)	(▲0.8)	(0.4)	(0.4)
総資産	12,677	14,431	13,173	13,048	12,465	16,445	14,791	15,129	14,449	—
純資産	4,614	4,637	3,277	3,499	2,985	3,427	5,078	4,912	4,775	—
自己資本比率 (%)	(36.4)	(32.1)	(24.9)	(26.8)	(24.0)	(20.8)	(34.3)	(32.5)	(33.0)	—
EPS(円)	▲9.05	20.76	▲125.25	4.59	▲40.91	38.75	74.39	▲9.77	4.16	6.22
ROE (%)	▲2.1	4.9	▲34.8	1.5	▲14.0	13.7	21.0	▲2.5	1.1	—
BPS(円)	422.21	422.30	297.03	315.51	267.56	301.92	398.64	385.17	371.56	—

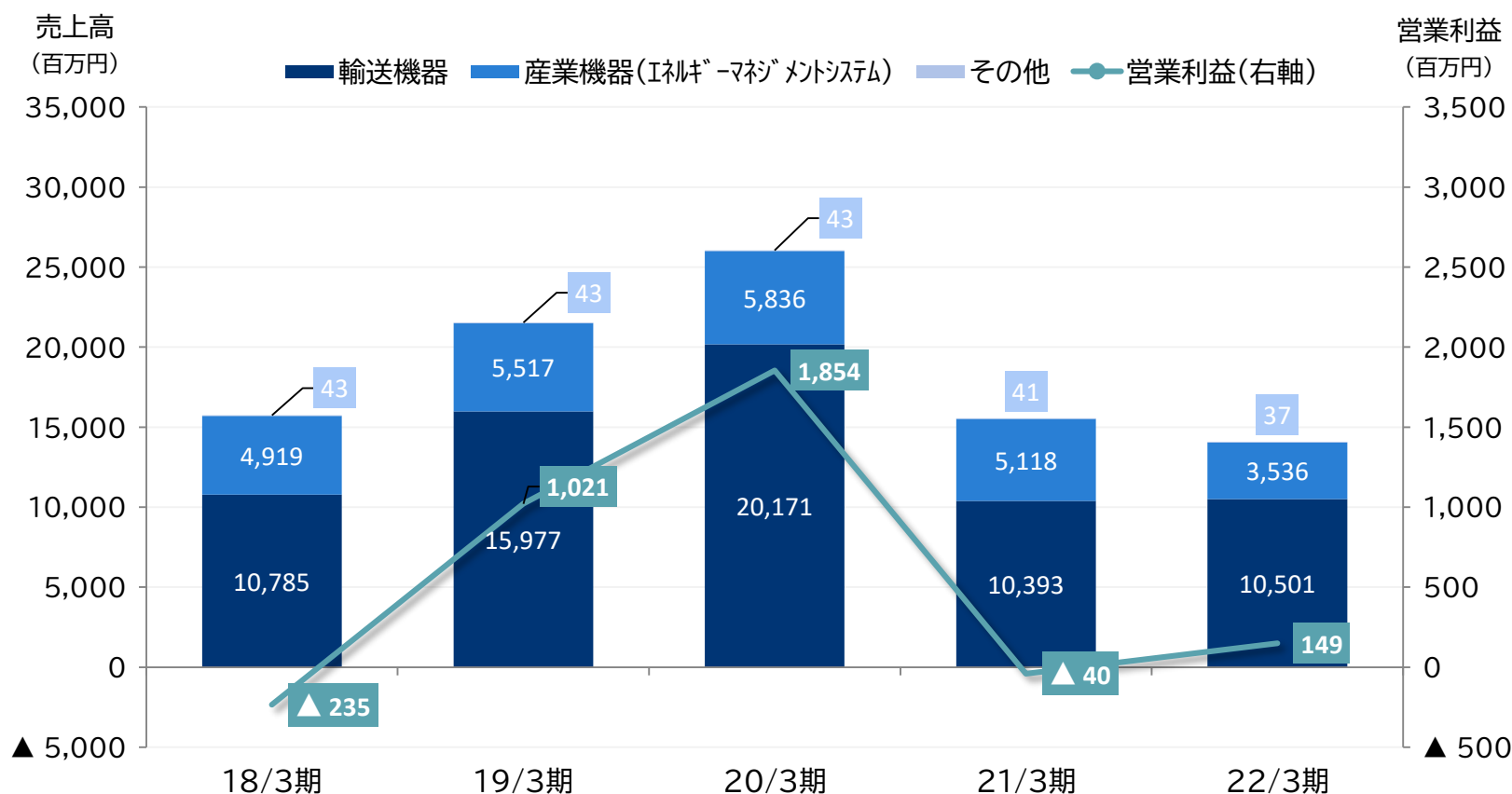
※ 2020年3月期に、新株発行(138万株)増資を行っております。

※ 2022年3月期より、企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」及び
企業会計基準適用指針第30号「収益認識に関する会計基準の適用指針」を適用しております。

年間業績の推移

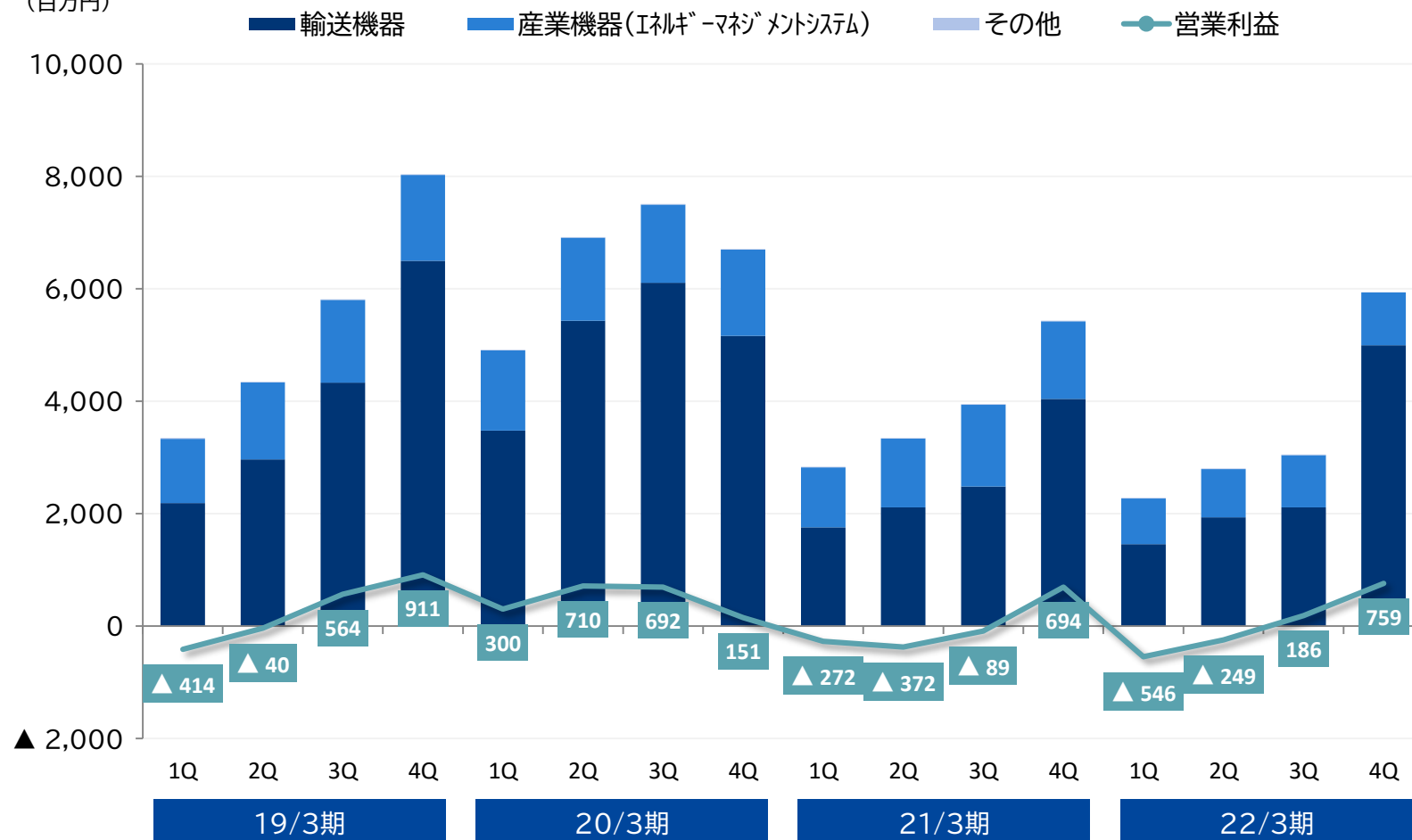
(単位:百万円)

	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期	22/3期
売上高	15,749	21,538	26,051	15,553	14,075
営業利益	▲235	1,021	1,854	▲40	149



四半期業績の推移

売上高・営業利益
(百万円)



四半期業績の推移

(単位:百万円)

売上高	2019年3月期				2020年3月期				2021年3月期				2022年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
輸送機器	2,186	2,965	4,328	6,497	3,476	5,431	6,104	5,159	1,757	2,110	2,482	4,042	1,458	1,935	2,113	4,993
産業機器 (エネルギーマネジメントシステム)	1,145	1,370	1,474	1,527	1,427	1,478	1,394	1,536	1,062	1,225	1,454	1,376	812	856	929	938
その他	11	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	9	9	9	9
売上高合計	3,342	4,346	5,813	8,035	4,914	6,920	7,509	6,706	2,831	3,347	3,947	5,427	2,279	2,801	3,052	5,941

営業利益	2019年3月期				2020年3月期				2021年3月期				2022年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
輸送機器	▲386	▲54	529	897	268	664	709	175	▲215	▲343	▲116	693	▲466	▲168	169	846
産業機器 (エネルギーマネジメントシステム)	▲16	24	45	21	44	57	▲4	▲13	▲42	▲16	34	10	▲64	▲77	31	▲62
その他	1	1	0	0	1	1	0	▲1	1	2	2	1	1	2	1	1
全社・消去	▲13	▲12	▲11	▲8	▲14	▲13	▲12	▲9	▲16	▲14	▲10	▲11	▲16	▲5	▲15	▲25
営業利益合計	▲414	▲40	564	911	300	710	692	151	▲272	▲372	▲89	694	▲546	▲249	186	759

LECIP GROUP

レシップホールディングス株式会社

【資料お問合せ先】 管理本部 総務部 電話番号 : (058)324-3121

将来予測について

本資料のうち業績見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と異なる結果となり得ることをご承知おきください。